

平成31年度 推薦入試

小論文（環境学部）出題のねらい

本出題は昨年出版された、「長期ゼロエミッションに向けて（**Toward Strong Weak Target**）」茅陽一、山口光恒、秋元圭吾、エネルギーフォーラム新書、2017.10より、この3氏の対談部分からの引用をもとに構成してある。ほぼ最新の地球温暖化対策に対する議論といってよいと思われる。本書には学術的な論説部分も多くあるが、結論的に扱われる3者の対談部分は口語で構成されているので、専門用語はあるものの比較的平易な言葉で読みやすいものであると考える。ただし、3者がどのようなシチュエーションで会話しているかを想像する事が肝要である。

問1.

地球温暖化の原因、その対応策に関して基礎的な知識、理解をみる設問。③は問題文中の例を自分なりの文章で説明する能力を問う。

問2.

再生可能エネルギー推進とIoTやAIといった情報技術との関係を論理的に導き出せるかを問う。IoTやAI（科学用語および内容）を知らないと解答に窮する可能性があるが、ヒントはB氏の発言のなかに隠れている。

問3.

対談の中での課題を見つけて解答することに加えて、自らの再生可能エネルギー推進に対する問題意識を見る設問。